



ありがとうー
そーいいわー



僕は感謝してたんじゃ
ないよー



いやそれほー

あー



こーいうの
今までの話と建前で

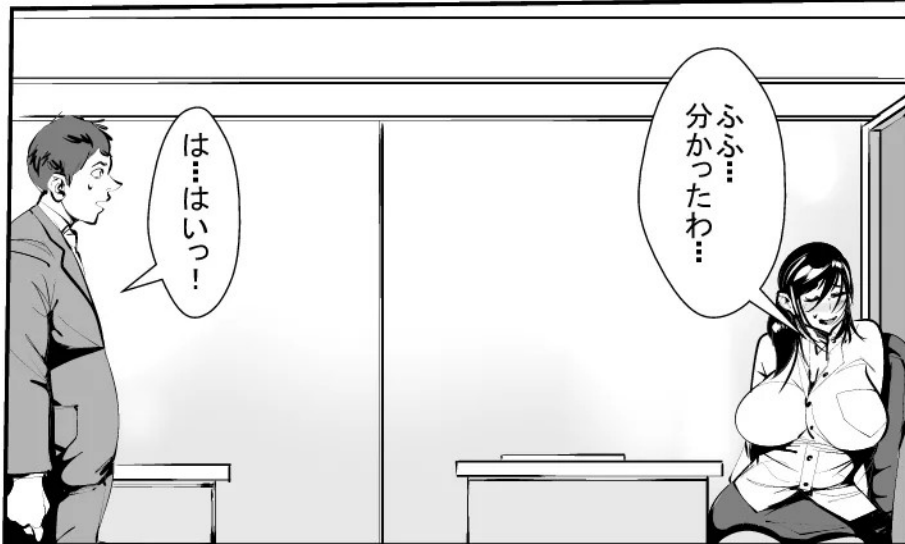
妄想女上司















ああん
優しく…してえつ

わー！ちよつと
もう何でもいいから
入ってくださいっ



えーい
もうどこでも
いいや！

ぽちっ



でも佐藤君には…
私は…逆らえなくて

どよ

どよ



え？別に私を
脅迫するつもりじゃ
なかったの

当たり前っすよ
ちよつと落ち着いて
ください



あ…そうなんすか

ど…どつしてそれをっ



なあんだ

なんだじゃないすよ
まったく…

課長って
結構…そういう
話でも読んてる
んですか？

















ほら課長ちゃんと腕上げてその胸がちゃんと見えるように腰振ってください

はああ

はっ!!

う...うれっこのこ?

みちみち

あ...後は私が腰をふって...えあ...っ

やあやあ

はっ













そうすか？
これでもゆっくり
やってる方ですよ

ばちゅ！ばちゅ！
ちゅ！ばちゅ！







触られたら...
なんすかつ

ひあ...あああつ

ぐにゅ!

ぶるん



課長は
俺の言うことを聞く
性処理係なんすからつ

あう...うん...
うん...うん...

ぶるん!!

ぶるん

ぐにゅ!









